

会議名	令和7年度 第2回宇都宮市文化財保護審議委員会
開催日時・開催場所	令和8年1月20日(火) 午後3時00分～午後4時30分 宇都宮市役所 本庁舎 14階 14A会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 報 告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度の主な文化財関係事業の報告について (2) 「第3次宇都宮市文化振興基本計画」について 4 その他 5 閉 会
出席者氏名	大澤慶子委員, 本田諭委員, 齋藤恒夫委員, 梁木誠委員, 高山慶子委員, 小柳真弓委員, 林光武委員, 逢沢峰昭委員, 小川聖委員, 大嶽陽徳委員
公開・非公開の別	公開
傍聴者の数 (公開した会議に限る。)	0名

3 報告

(1) 令和7年度の主な文化財関係事業の報告について

○事務局による説明

○委員

デジタルミュージアムについて、今後どれくらいの資料を公開できるのか。また、古文書の取組についても聞かせてほしい。

⇒事務局：現時点で150点公開予定であるが、指定文化財については古文書に限らず、バランスを見ながら年々追加していきたいと考えている。古文書については、原文だけでなく翻刻や書き下し文も表示できるようにデジタルミュージアムの構築を進めている。

委員：今ある文化財をどう活用するか、だけでなく、まだ眠っている文化財を見つけるという取組についても、市として取り組んでほしい。

事務局：上河内民俗資料館において、目録の作成を進めている。また、県立博物館にもご協力いただき、古文書の整理を進めている。必要に応じて市民等のお宅へ訪問し、古文書の確認なども行っている。引き続き、各種取組を行っていく。

委員：そのような取組についても、報告事項に入れてほしい。

事務局：了承した。

○委員

デジタルミュージアムについて、天然記念物も取り上げるのか。

⇒事務局：天然記念物も取り上げる。今後も年々追加していきたいと考えている。

委員：天然記念物を取り上げることは、本市の自然環境に目を向けてもらう良い機会になると思うので、よろしくお願ひしたい。

事務局：了承した。

○委員

天然記念物をはじめとして、文化財は永続的に存在できるものではない。そのことも視野に入れて、デジタルミュージアムを作って終わりにするのではなく、継続的に取り組んでほしい。

⇒事務局：了承した。

○委員

デジタルミュージアムについて、文化財の価値を伝えるうえで、どのようなアングルの写真を使用するかが重要である。旧篠原家住宅では、街道に面した見世蔵等の建物立面の見事さを伝えるために、離れた視点から撮影した写真があると良いと思うがどうか。また、デジタルミュージアムを活用したイベント等は企画しているのか。

⇒事務局：VRの撮り直しは現時点では難しいと考えているが、2Dの写真を撮影して掲載することを検討したい。また、企画段階ではあるが、小学生等を対象に3Dモデリングワークショップを検討している。

○委員

デジタルミュージアムについて、周知・広報の計画はあるか。

⇒事務局：3月に記者会見で発表する予定である。広報誌や市公式SNSでの情報発信をはじめ、デジタルサイネージや市役所本庁舎・地区市民センター等の窓口に設置されているモニターで流すCMを作製する予定である。また、小中学生にデジタルミュージアムに来訪してもらえるよう、うつのみや学の副読本にQRコードを掲載する予定である。

○委員

大谷寺の仏像について、指定書の年代と現代の研究による年代観が異なっているため、見直してほしい。

⇒委員：研究の進展により、指定当時と現在で評価が変わる可能性はある。ただし、制度上は指定書の書き換えを行うことはないと思われる。実際の取組については、文化庁の見解を確認するのが良いと思われる。

事務局：県や文化庁に相談し、デジタルミュージアムへの掲載内容等について検討していきたい。

○委員

デジタルミュージアムについて、何か国語に対応するのか。また、外国人向けの周知・広報の計画はあるか。

⇒事務局：自動翻訳ではあるが、英語・中国語・韓国語に対応予定である。また、外国人向けの周知・広報の計画については、今後観光部門と連携を図って検討していきたい。

○委員

先日、デジタルアーカイブ研修に参加した際に、収集・保存に目が向かない傾向にあるという調査結果を目にした。十分な人材・予算が確保できない中ではあるが、大切な部分であるため、是非意識してほしい。

⇒事務局：了承した。

○委員

資料1中「3文化財保護審議委員会」の第4専門調査部会の内容について、補足する。下篠井のイヌシデ、中鶴田の大フジ、鬼怒川のシルビアシジミ、旭町の大いちょうなども回ったので、資料に追加しておいてほしい。また、天然記念物については、枝が折れたりすることがあるため、デジタルミュージアム掲載用の撮影は早々に済ませると良いと考える。

⇒事務局：了承した。

(2)「第3次宇都宮市文化振興基本計画」について

○事務局による説明

○委員

社会状況が大きく変化している中で、文化財を取り巻く状況も変わってきている。今後本市の文化財をどう維持していくかという点も踏まえた計画策定になっている。

⇒委員 : 芸術文化と歴史文化を融合させた取組になっている。パブリックコメントも募集しているため、歴史文化に携わる委員の皆様からご意見をいただければと思う。

○委員

この10年間で大きく変化したことはデジタル化である。利活用には非常に優れているが、現物を軽視する風潮がある。本市においては現物を軽視しないように心掛けてほしい。

⇒事務局：了承した。

○委員

文化財のデジタル化や観光資源化は時代の流れで対応は必要だが、収集・保存活動は変わらないため、そこをアピールしてほしい。

⇒事務局：了承した。

○委員

市民遺産会議の中で申請のあった「戊辰戦争関連遺跡群（幕田・安塚の戦い）」について、先日調査を実施した。その際に案内板等の整備の重要性を感じたため、今後検討してほしい。

⇒事務局：了承した。

4 その他

なし

その他の事項